

なし栽培情報第6号

平成 23年 7月 28日
高岡農林振興センター
射水市農業技術者協議会

1. 生育概況及び病害虫の発生概況について

本年の梅雨明けは7月9日で前年より8日、平年より15日早くなりました。7月の気象は、気温が平年に比べ3.7℃も高く、降水量は平年の49%とかなり少なく、日照時間は平年の173%とかなり多い状況です(7/20現在)。

「幸水」の果実肥大は、梅雨明け後の日肥大量が前年・平年より緩慢な状態であり、前年・平年と比べてやや小さく推移しています。また、肥大のバラツキが大きい状況です。

「幸水」の裂果の発生は少ない状況です。肥大最盛期に入り、肥大の劣る果実や変形果が明瞭になってきました。小玉果の摘果を含めて最終の補正摘果を実施してください。

病害虫については、黒星病の二次感染が多かったことから、収穫時における罹病果の発生が懸念されます。黒星病の被害部位は見つけ次第、除去してください。また、ハダニ類については、高温乾燥状態が続いており、今後の発生に注意してください。なお、ハダニ類の発生が見られた場合は、下記を参考に、適確に対応して下さい。

2. これからの防除について

幸水の収穫時期が近づいています。農薬は収穫前の使用基準に従い、使用してください。

時期	対象病害虫	散布薬剤名	希釈倍数	散布量 (10a 当)	1000当 必要薬剤 (g, cc)	防除実施日 (自己記入)
8月5~6日	輪紋病、黒星病 カメムシ類、シクイムシ類 展着剤	オーソサイド水和剤80 スタークル顆粒水溶剤 ハイテンパワー	1,000倍 2,000倍 10,000倍	350ℓ 以上	100g 50g 10cc	月 日

* 「オーソサイド水和剤80」の使用時期は、収穫3日前までです。

* 「スタークル顆粒水溶剤」の使用時期は、収穫前日まで(24時間前まで)です。

* 近隣の他作物や住宅等へ農薬がかからないように、ドリフトには十分注意して散布してください。

* 黒星病対策について

二次感染した葉、果実は必ず摘みとって処分してください!

黒星病は薬剤散布だけでは完全に防止することはできません。黒星病に感染した果実や葉はただちに摘み取って園外に持ち出して処分して下さい。

☆ハダニ類発生時の対応

ハダニ類の発生に注意し、下記を参考に防除を行なってください。

時期	対象病害虫	散布薬剤名	希釈倍数	散布量 (10a 当)	1000当 必要薬剤 (g, cc)	防除実施日 (自己記入)
ハダニ類発生時 (防除前に草刈りを!)	ハダニ類 展着剤	コロマイト水和剤 ハイテンパワー	2,000倍 10,000倍	400ℓ 以上	50g 10cc	月 日

* 「コロマイト水和剤」の使用時期は、収穫前日まで(24時間前まで)、1回以内です。

* 殺ダニ剤の散布前に草刈りを実施してください。

3. 幸水及び豊水の補正摘果基準について

幸水 ※満開4/27、収穫盛期8/30の場合

大きさ	7月28日	8月4日	8月11日
40玉基準	54.5mm	61.1mm	67.0mm
44玉基準	52.1mm	58.4mm	64.1mm

豊水 ※満開4/25、収穫盛期9/18の場合

大きさ	7月28日	8月4日	8月11日
36玉基準	48.4mm	54.5mm	60.5mm
40玉基準	47.0mm	53.0mm	58.9mm

(注意) 満開日やいつ収穫するかによって基準は異なります。ほ場の実態を考慮して下さい。

4. 除草剤の使用基準について

除草剤の使用に当たっては、下記の使用基準を遵守して下さい。

商品名	使用時期	使用回数
ラウンドアップマックスロード	7日前まで	3回以内
三共の草枯らし	7日前まで	
プリグロックスL	前日まで	5回以内
バスタ液剤	前日まで	3回以内

※注意

「ラウンドアップマックスロード」と「三共の草枯らし」は、成分が同系統のため、使用回数は合わせて年3回以内です。

5. 農薬飛散防止について

農薬使用基準の遵守、他作物等へのドリフト（飛散）防止、防除器具の洗浄等に十分気をつけて農薬散布を行って下さい。

1. 風の弱い時に散布する

- ① 早朝・夕方など風の弱い時に散布する
- ② 風向きに注意する

2. 機械の調節はこまめに、適切な送風量、圧力で散布する

- ① 送風量は大きくしすぎない
- ② 散布圧力を上げすぎない

3. 不要な方向への散布をしない

- ① 散布対象がない方向のノズルは止める
- ② 旋回時には不要な噴霧を止める
- ③ 圃場の端の列では特に注意する

4. ネット等を利用して園地外への飛散を減らしましょう

7月下～8月は、水稻及び大豆の防除が行われます。特に水田と接している面は、防風ネットを必ず降ろし、園内への飛散を防止しましょう

5. 生産者お互いに連絡をとり、園の近隣で収穫の近い野菜などがある場合は散布日や収穫日を調整しましょう

6. 栽培履歴の記帳・提出&GAPチェックシートの記入を！！

必ず栽培履歴の記帳・提出を行ってください。また、本年も、呉羽梨産地全体でGAP（農業生産工程管理）に取り組んでいます。GAPチェックシートの記入も必ず実施してください。